

九州運輸局メールマガジン 平成25年3月14日 第207号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（3月7日～3月13日掲載分）

- ・各種情報
- ・各種手続き
- ・分野別情報
- ・報道発表

2 現場レポート

- ・「糸島の冬の風物詩 カキ小屋に行きませんか」
～福岡県糸島市～

3 「九州オルレ」特集

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （3月7日～3月13日掲載分）

-----各種情報-----

《入札契約情報》

物品・役務入札公示（3月7日分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

企画競争実施予定情報の公表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_130307.pdf

入札結果の公表（平成25年2月分を追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1302.pdf

契約結果の係る情報の公表（平成25年2月分を追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/2502.pdf

-----各種手続き-----

《海技試験制度・合格発表》

2級・3級・4級海技試験総合合格発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

-----分野別情報-----

《公共交通活性化》

学識経験者の教え（東海大学 渡邊 千賀恵氏、東海大学 梶田 佳孝氏、
福岡大学 辰巳 浩氏分をアップ）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/m_koukatsu.html

地域公共交通企画セミナー（メールマガジン） 自家用有償運送について2を
追加

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file31/kotsukikakuka-mail11.pdf>

地域公共交通活性化事例（地域公共交通支援センター）

<http://koutsu-shien-center.jp/jirei/index.php#top>

地域公共交通に関する用語解説（地域公共交通支援センター）

<http://koutsu-shien-center.jp/glossary/index.html>

セミナー、シンポジウム開催状況 [セミナー・研修]

（地域内フィーダー系統に係る補助金交付申請説明会（H24.11.5）他4件をアップ）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/m_koukatsu.html

地域公共交通活性化・再生法関係（地域公共交通支援センター）

<http://koutsu-shien-center.jp/saisei/index.html>

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律における事務手続き等

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file34.htm>

公共交通マップ（久留米広域定住自立 公共交通マップ H24年度版）

<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1080shisei/2050machi/3030toshi/2012-0403-1708-198.html>

コミュニティバスのバス停と主要施設が分かりやすい路線図の例

市民バス東線バス路線図（北海道美唄市）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file32/jitsurei-hokkaido2.pdf>

「わかさ姫」運行ルートと運行時刻（鹿児島県西之表市）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file32/jitsurei-kagoshima.pdf>

《バス・タクシー・トラック》

トラックの申請・処分状況（平成25年2月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2502.pdf

バスの申請・処分状況（平成25年2月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2502.pdf

----- 報道発表 -----

台湾の教育旅行関係者を招請し、九州の教育旅行をアピールします！

～日台教育旅行交流座談会を福岡にて開催～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0307-kokusai.pdf>

台湾の旅行会社・マスコミを招請し、南九州の魅力をPRします！

肥薩おれんじ鉄道（食堂車）もPR！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0311-kokusai.pdf>

香港の旅行会社を招請し、南九州の魅力をPRします！台北経由でアクセス

可能な南九州をPR！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0311-kokusai2.pdf>

KLMオランダ航空の福岡初就航向け機内ビデオ完成試写会について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0311-kokusai3.pdf>

2 現場レポート

「糸島の冬の風物詩 カキ小屋に行きませんか」

～福岡県糸島市～

糸島市は平成22年1月1日に前原市、二丈町、志摩町の1市2町が合併してで

きた人口約10万人の都市で、福岡県の西部に位置し、東は福岡市、西は佐賀県唐津市、南は佐賀市に接しています。市南部に山地、北部に海岸線を有し、その中間部には糸島平野と呼ばれるなだらかな田園地帯が広がる自然豊かな地域です。地理としてはJR筑肥線、西九州自動車道などの整備により福岡市の中心部天神からおよそ30分の距離に位置します。JR博多駅や福岡空港とも直接アクセスして、交通の利便性が非常に高い地域です。

糸島市のホームページアドレス <http://www.city.itoshima.lg.jp/>

基幹産業とする農業から産出される農畜産物や糸島の海で獲れる海産物は「糸島ブランド」として人気を博しており、これら農畜産物や海産物は、売上高が日本で一、二を争う「伊都菜彩」などの直売所で販売され、休日には市内外の人たちが買物に訪れています。

そんな糸島市の冬の風物詩ともなっている「カキ小屋」。4つの漁港で20数軒のカキ小屋が開かれ、週末ともなると各カキ小屋で行列ができるほどの賑わいを見せています。午後になると売り切れになることもあるようですので、午前中の来店がおすすめです。糸島のカキ小屋は、新鮮・安全で身が大きくリーズナブルなお値段が特徴。海からあがったばかりのプリプリのカキを、自分の手で焼いて食べる美味しさは格別です。さらに、ご飯や飲み物などの持ち込み可能な店が多いのも嬉しいところです。店によってサイドメニューや細かなサービスの差がありますので、色々通ってお気に入りの店を見つけるのも楽しいですよ。カキ小屋は例年4月頃まで営業していますが、今年はカキの漁獲量が少ないため、例年より早く営業終了となる可能性もあるそうです。これから行かれる方はお早めに行かれることをお勧めします。

糸島市には魅力的な観光地も多数あります。滝隣の四季の茶屋ではヤマメ釣りや郷土料理のそうめんちりを楽しむ事が出来る、県指定名勝にも選ばれた白糸の滝。伊勢の二見ヶ浦の朝日に対して、夕日の美しさで知られる桜井二見ヶ浦。日本三大玄武洞の中でも最大の芥屋の大門（けやのおおと）などの名勝が居並び、多くの観光客を魅了しています。

毎週土・日・祝日にはかき小屋をはじめとする観光地を巡る「いとしま周遊バス」も運行しており、のんびりおだやかな「いとしま時間」を楽しむことができます。

糸島市観光協会ホームページ：<http://kanko-itoshima.sakura.ne.jp/ja2/?p=945>

また、糸島市は歴史的にも貴重な史跡・遺跡が残されており、古くは、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地とされ、大陸との玄関口として古代から文化が栄えていました。中でも、平原遺跡で出土した日本最大の銅鏡である「内行花文鏡」をはじめとする出土品群は国宝に指定されています。

古代伊都国の遺跡が残る歴史ロマンに思いを馳せ、海と山の美しい自然を愛で、カキ小屋で焼きたてのカキを肴にお酒を楽しむ。ぜひご自身で、見て・食べて・感じて、糸島市の良さを堪能してみたいはいかがですか。

かき小屋等の模様は下記のURLからご覧いただけます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_207_2.pdf

【企画観光部 交通企画課】

3 「九州オルレ」特集

～「九州オルレ」第二次コースを紹介します。～

先週から4回にわたり、第二次コースとして選定された4コースについて、体験者からの感想を掲載しています。

2回目は熊本県 天草・松島コースです。

九州オルレ 熊本県 天草・松島コースオープン 2月19日(火)

熊本県上天草市は、昨年第一次選定された天草・維和島コースに加えて、今回、天草・松島コースが選定され、九州全8コースのうち2コースが所在する景観や温泉、歴史などの観光素材を生かし、地域ぐるみの取り組みを行っている先駆的な地域となりました。

昨日から九州地方にかかっている前線の雨雲により、熊本県上天草市知十バス停付近においても、小雨ながら降ったり止んだりの生憎の空模様となりました。それでも、午前8時のコースオープン式に参集している上天草市長や済州オルレの代表、招聘された韓国マスコミ各社のレポーターやカメラマン、その他オープンを心待ちにしていた皆さんの熱気はこのスタート地点に溢れていました。開式に際しての上天草市長の挨拶では、選定をうけた喜びや関係の皆さんへのお礼と同時に2コースが所在する責務、将来への期待が表明されました。連携をいただいている済州オルレ理事長からは、選定にあたっての本コースの魅力が伝えられました。各関係者代表によるテープカットが行われ、参加者は一斉にコースを歩き始めました。この天草・松島コースの全行程は11.1km、4～5時間の所要でオルレの難易度は中程度とされています。

実際に皆さんと歩かせてもらったコースを、順を追って簡単にご紹介します。

まず、スタート地点の知十観音下から海岸線へ抜けて、丸いごろごろとした石の転がる波打際を潮の香りを嗅ぎながら回り込むように進みます。そこからしばらくは広い田んぼの中の川沿いの道を山手に向かって歩くのですが、岩の屏風に取り囲まれているような錯覚を覚える風景が続きます。山間のちょっとした登山道の入口から、小道を多少登りながら小1時間ほど歩くと、千元の森と記された案内板のある見晴らしのよい場所へ出ます。ここでは、程良い達成感とご褒美となる景色を楽しむことができます。

更に上をみあげると露出した巨大な岩が積み上げられたような千元の森嶽の山頂が見えます。まだまだ登れるらしいのですが、オルレのコースではこのパノラマ

の地を楽しんだあと、標高162mの千巖山を目指して再出発します。
かつて天草四郎が山頂で祝宴をはり、杓子で酒を飲んだといい伝えられている場所です。カリスマ性をもった美少年といわれる四郎に思いを馳せたり、眼下に広がる松島の島々や天草五橋の位置を皆さんと語り合いながら歩いていきます。
山頂展望台に着くと、コースオープンに参加している皆さんのためにと用意された、地元観光協会のおかみさんの方々からのお菓子やお茶のおもてなしを受け、皆さん大感激することとなりました。

腹ごしらえが済んだところで再出発です。ここからは、ほぼ下りとなり、深い森や竹林、巨岩の間を抜けるように、オルレの目印である青と朱色のリボンを頼りに進みゴールへ向かいます。ゴール地点に設定されている松島地域の龍伝説にちなんだ足湯に浸る頃には、適度の疲労と癒しを感じることができました。

私自身、初のオルレ体験でしたが、コース設計にいろんなアイデアが盛り込まれており、次はどのオルレに挑戦しようかと思わせるような体験となりました。
今後、九州オルレとして、また、九州オルレと連携して選定数が増えていけば、いくつ制覇できた？なんてスタンプラリーもおもしろいかも知れませんね。
どうか皆さんもこの第二次選定を機にお近くのオルレを歩かれてみて、国内外にその魅力を広めていただけると幸いです。

当日の様子は下記のURLからご覧いただけます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_207.pdf

天草・松島コースの詳細については下記のURLからご覧いただけます。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushuolle/?mode=detail&id=9>

【熊本運輸支局】

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
熊本県人のスイーツと言えば「いきなりだご」だろう。祖母の手作りのお菓子は、素朴でほどよい甘さが口の中に広がった。懐かしさもあって田舎の物産館では必ず立ち寄り買って帰る。

前に住んでいた長崎では、この時期「桃カステラ」が一斉に並ぶ。桃は中国では厄除けや不老長寿の縁起物とされている。ポルトガルが起源と言われるカステラをベースにして、砂糖で作った白い桃で覆い、和菓子の製法の葉っぱを付ける。長崎独特の「和・華・蘭」文化を象徴している。長崎人はそれぞれご鼻屑の店があり、そこの桃カステラを買うそうだ。甘いものへの探求は止まらない。
私も甘いものが好きだ。最近特に好きになった。脳が活性化するのは？と期待していたが、腹回りに蓄積する方が多すぎて、肝心の頭が働かない。考え方も甘くなってるのかも・・・。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192